

各位

2026 年 8 月 25 日
大栄不動産

ポジティブ・インパクト・ファイナンスの実行について

当社は、株式会社あおぞら銀行(以下、「あおぞら銀行」)より「あおぞら ESG フレームワークローン」に基づくポジティブ・インパクト・ファイナンス(以下、「本件ローン」)を本日実行いたしました。

ポジティブ・インパクト・ファイナンス(以下「PIF」)は、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)(*1)が制定したポジティブ・インパクト金融原則(*2)に基づき、借入先企業の企業活動が環境、社会、経済にどのようなインパクト(影響)を与えるかを包括的に分析・評価し、ポジティブなインパクトの進展・拡大ないしはネガティブなインパクトの緩和・抑制を継続的に支援することを目的としたファイナンスです。

あおぞら銀行は2023年6月1日付で「あおぞらポジティブ・インパクト・ファイナンス」として、PIF 評価実施体制がポジティブ・インパクト金融原則に適合している旨のセカンドオピニオンを、株式会社格付投資情報センター(R&I)より取得しています。

1. 本件ローンの概要

実行日	2026年 8 月 25日
借入金額	25億円
資金用途	長期運転資金

2. 当社グループのサステナビリティについて

当社グループは、「社会に貢献し、お客様に必要とされる存在であり続ける」との企業理念のもと、「当社グループのサステナビリティ」と「社会のサステナビリティ」の調和を図り、企業価値の最大化を目指すことを経営の基本方針としています。

本件ローンの実行あたっては、当社グループのサステナビリティ・ビジョンならびに重要課題(マテリアリティ)を中心に、事業活動に伴う社会的責任や、SDGs 達成に向けた貢献について、あおぞら銀行による分析・評価に基づき、後記の KPI を設定しました。

3. KPI

インパクトカテゴリー	対応方針/取組内容	KPI	目標	関連するSDGs
NI: 気候	- 保有物件へのグリーン電力導入 - ZEH・ZEBの新規取得	CO₂排出量原単位 (単体: Scope1,2)	2030年度までに2013年度比 ▲30% (2024年度実績 ▲25.33%)	
PI: 包摂的で健全な経済 PI, NI: 雇用	- 性別を問わず従業員が働きやすい職場環境の整備 - 健康に配慮した職場環境づくり	- 育児休暇取得率 (単体) - 健康診断受診率 (単体)	- 女性: 100%、男性: 50%以上 (2025年度実績 男女ともに100%) ※ 100% (2025年度実績 100%)	 

(凡例) PI: ポジティブインパクトの拡大、NI: ネガティブインパクトの抑制

※ 実績については当社第86期有価証券報告書p.47に記載

「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」(平成3年法律第76号)の規定に基づき、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律施行規則」(平成3年労働省令第25号)第71条の6第2号における育児休業等および育児目的休暇の取得割合

(※1)国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI):1972 年に「人間環境宣言」及び「環境国際行動計画」の実行機関として設立された国連の補助機関。UNEP FI は、UNEP と 200 以上の世界の金融機関 による広範で緊密なパートナーシップであり、1992 年の設立以来、金融機関、政策・規制当局と協調し、経済的発展と ESG (環境・社会・企業統治)への配慮を統合した金融システムへの転換を進めている。

(※2)ポジティブ・インパクト金融原則:UNEP FI が 2017 年1月に策定。企業がSDGs の達成への貢献を KPI で開示し、銀行はそのプラスの影響を評価して資金提供を行うことにより、資金提供先企業によるプラスの影響の増大、マイナスの影響の低減の努力を導く。融資を実行する銀行は、責任ある金融機関として、指標をモニタリングすることによって、インパクトが継続していることを確認する。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

大栄不動産 企画財務本部 経理財務部(財務チーム) ☎ 03-3244-0655
サステナビリティ推進委員会・事務局 ☎ 03-3244-0537